

おもしろい本 みつけた!

《 中学生・高校生 》

1年の間に図書館に入った本を中心に、はばひろく
おもしろい本を紹介します。

茨木市立図書館 おもしろい本みつけた

検索

ホームページにものっています。

★気になる本をみつけたら、さっそくさがしてみよう!



F-サク
(日本の小説)
2016年2月

『表参道高校合唱部！ 涙の数だけ強くなれるよ』

櫻井 剛 脚本

(学研プラス)

桑畑 絹子 小説

表参道高校に転校した、主人公・香川真琴は合唱部に入部します。しかしかつての名門合唱部は、今や人数不足で廃部寸前。真琴はなんとか部員を集めようと、頑張りますが…。

「Over Drive」「翼をください」「TOMMORROW」など、ちいさなころに聞いた名曲をモチーフにした、連作短編集です。



ニーズ
(日本の小説)
2016年4月

『旅のお供はしゃれこうべ』

泉田 もと 作

(岩崎書店)

店主の父からの頼まれごとで旅に出た惣一郎は、奉公人の裏切りで大事なお使い物とお金を盗まれてしまいます。

山道で迷って崖から落ちて、目を覚ますと人間の頭がい骨、しゃれこうべに話しかけられてびっくり仰天。出会ったしゃれこうべの助佐は、盗まれた品物を取り返しに行こうと言うのですが…。頼りないお人よしの惣一郎は、無事に荷物を取り返し、店の立派な跡継ぎになれるのでしょうか。



K911
(詩歌)
2016年4月

『そして』

谷川 俊太郎 詩

(銀の鈴社)

下田 昌克 絵

詩人・谷川俊太郎さん自らが選んだ詩が、全部で29編収録されています。ひらがなの詩、カタカナの詩、思わず声に出してみたいくなるような詩、読んだ後にじっくり考えてしまうような詩などなど、多種多様。詩に添えられた挿絵も印象的です。

詩を読む機会というのは、授業以外あまりないかもしれません。そんな人も、ぜひ、気軽に手に取ってみてください。29編のうち、たった1編でも、あなたの心に響く詩と出会えるかもしれません。



ニヤマ
(日本の小説)
2016年5月

『夜間中学へようこそ』

山本 悦子 作

(岩崎書店)

優菜が中学1年の春。おばあちゃんから「中学に行く」宣言が。子どもころ学校に行けず、字を読み書きできないおばあちゃんは、「夜間中学」で勉強したいという。ひょんなことから優菜もつきそいで通うことになり…。

担任の間瀬先生、クラスメートのミオちゃん、松本さん、和真、違うクラスのカルロスたち。年齢も境遇もちがう人たちが、同じ教室でともに学び、ときにぶつかり、優菜はいつしか夜間中学がすきになっていく。

「夜間中学」ってどんなところ？一度扉をあけてみてください。



361
(社会学)
2016年6月

『くらべる東西』

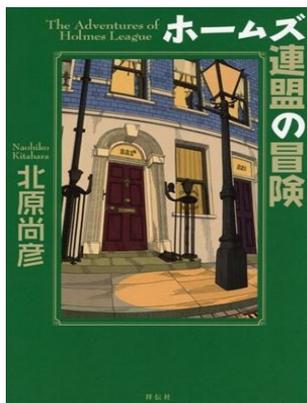
おかべ たかし 作

(東京書籍)

山出 高士 写真

「おでん」「桜餅」が、西と東で違っていることを知っていますか？食文化が関西と関東で違うことは、有名ですので知っている人も多いかもしれませんね。

西と東の違いを左右に並べ、文字と写真で説明していますので、この本を見れば、「ここが違う！」と一目瞭然です。また、食べ物だけでなく、文化・習慣・風景なども紹介しています。



F-キタ
(日本の小説)
2016年2月

『ホームズ連盟の冒険』

北原 尚彦 作

(祥伝社)

皆さんがよく知っている、シャーロックホームズシリーズに出てくる脇役達を主人公にした、短編集です。

ホームズの宿敵モリアーティ教授は、相変わらず裏で暗躍し、ホームズの兄のマイクロフトは、恋のキューピット役で大活躍します。

これを読めばきっと本家のシャーロックホームズを読みたくなるでしょう。



361
(社会学)
2016年7月

『爆笑! クールジャパン コミックエッセイ えっ? 外国人は日本をそう思っていたの...!?'』

サンドラ・ヘフェリン 原作

(アスコム)

片桐 了 漫画

今、日本の習慣や文化が外国で「クール (=カッコいい)」と言われています。その「クールジャパン」は日本人からは「なんでそうなったー?」とツッコミたくなるものも多いようですが、その勘違いの理由こそ、違う文化圏の人と分かり合うためのポイントなのかもしれません。

それはさておき、この本で外国人のみなさんがやっている、たこ焼き器や炊飯器の使い方は目からうろこが落ちる感じです。外国人のほうがたこ焼き器を使いこなしているとは!



F-アサ
(日本の小説)
2016年4月

『明日になったら 一年四組の窓から』

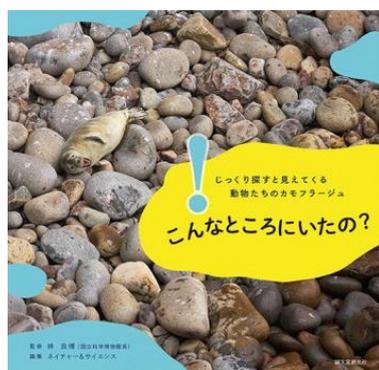
あさの あつこ 作

(光文社文庫)

主人公杏里は恋に友情に悩む中学3年生。いつも仲よし四人組で遊んでいるが、その四人にもとうとう別れが来て…。

周りとは少しでも違っていると「変わった子」とレッテルを貼られる今の時代、自分の道を進むことの大切さを教えてくれる、前に進もうとするすべての人のための青春小説です。

今中学生の人も、かつて中学生だった人も、主人公になったつもりでぜひ、読んでみてください。



481
(一般動物学)
2016年7月

『こんなところにいたの？じっくり探すと見えてくる動物たちのカモフラージュ』

林 良博 監修

(誠文堂新光社)

ネイチャー&サイエンス 編

動物などが自分を見えづらくすることをカモフラージュといいます。この本では、有名なナナフシをはじめヤモリ、アザラシ、カマキリ、フクロウなどさまざまな生き物のカモフラージュが見られます。特に注目なのがムラサキシヤチホコ。答えを見てからもいったいどうなっているかきっと不思議に思うでしょう。

どこに隠れているかを探しながら、自然の不思議や面白さを感じてください。

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎627-4129	畑田町1番51号
中条図書館	☎622-2476	東中条町2番13号
水尾図書館	☎637-4416	水尾三丁目3番18号
庄栄図書館	☎620-1171	庄二丁目26番12号
穂積図書館	☎620-1056	松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：平成29年(2017年)3月31日

*本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。